加藤鉄筋 かわら版 第41号

株式会社 加藤鉄筋工業 電話:055-924-3344 ホームページ:http://www.katokin.net メールｱﾄﾞﾚｽ:katokin@bronze.ocn.ne.jp

第41号編集：加藤　平成28年6月発行

≪18歳選挙権≫

“若者たちが選挙に参加するには？”

皆さんよくご存じのように、日本は少子高齢化、人口減少社会を迎えています。この状況において、日本の未来を作り担う存在である10代にもより政治に参画してもらいたいと、選挙年齢の引き下げが行われました。また、より早く選挙権を持つことにより、社会の担い手であるという意識を若いうちから持っていただき、主体的に政治に関わる若者が増えて欲しいという狙いも大きくあります。

ここ何年もの選挙にみられるように、投票率の低下が著しく、特に若い世代の政治への関心が非常に薄れているといえるでしょう。若者の投票率が低くなると、若者の声は政治に届きにくくなってしまいます。その結果、高齢者や特定の団体への手厚い政策が多くなるというようなことも起きてきます。また、若者に向けた政策が実現しにくくなったり、実現するのに時間が要してしまうなどの可能性がでてきます。これは、国民の義務である選挙権を、若い人たちが行使しない結果ともいえます。

それでは、世界選挙権や投票率はどうなっているのでしょうか？

世界191の国・地域のうち、9割近くが日本の衆議院にあたる下院の選挙権年齢を「18歳以上」と定めています。選挙権年齢は、ヨーロッパの国々を中心にさらに引下げを進める動きが活発化しており、オーストリアでは既に「16歳以上」への引下げが行われおり、ドイツやノルウェーなどでは、特定の州や地域で16歳以上への引下げが行われています。また、それとともに、教育の場でも政治について議論したり、選挙について討論したりする場を設けています。

一方、投票率は国によって大きく差があり、フランスなどは日本と大差ありません。北欧等軒並み高く、法律で義務化されている国は当然のように高くなりますし、厳しい罰則がある国ほど高い投票率です。日本でも、これを機会に政治に関心を持ってもらおうと各地で様々な取り組みが行われております。(詳しくは総務省HPへ)

是非、子供と一緒に選挙に参加してみてください。普段少なくなりつつある会話に、広がりができるかもしれませんよ。

「父の日」

6月第3日曜日

6月19日は父の日です。みなさんは「ありがとう」と言われる方が多いかと思いますが､家族で父の日ｲﾍﾞﾝﾄが予定されていますか？

母の日に比べて印象の薄い父の日。ではその成り立ちをご存知でしょうか？実は、母の日も父の日もアメリカから伝わった習慣なのです。

20世紀初めには始まっていた母の日に対して、男手ひとつで子供6人を育て上げた父に感謝したいと､6月にパーティーを開いたことから始まったのが父の日ですが、母の日の祝日が1914年に制定されたのに対して､父の日は1972年とだいぶ歴史が浅いようです。

さて、日本ではどちらも日曜日にその日を当てております。母の日が現在の5月になったのは、実は戦後だそうです。

一方、父の日は伝わってきたのは同じころのようですが、認知度が低く、現在のようにｲﾍﾞﾝﾄとして認識され始めたのは､1980年代と、つい最近なのです。

似顔絵を贈ったり、感謝の手紙を書いたりと、子供たちから改めて「ありがとう」と言われると、嬉しいものですよね。子供だけでなく、自分も父親へ改めて感謝の言葉と白いバラを贈ってみてください。よい休日となりますように(*^_^*)

≪全国安全週間準備月間≫

第89回スローガン『見えますか？
あなたのまわりの見えない危険
みんなで見つける　安全管理』

梅雨の訪れと共に、今年も全国安全週間の準備月間に入りました。私たち建設業界にとって、特に躯体職の私たちは、熱中症の心配となる時期に、例年忙しさのピークも重なるので、安全に対する意識高揚のとてもいいタイミングでこの安全週間準備月間に入ります。

上記のスローガンにも表されている、「見えますか？」が非常に欠けているために起きる事故・災害が非常に増えているように感じるのは、皆さん同じではないかと思います。作業をする一人ひとりが、現場の危険に気づけているのかどうか、自分のやろうとする作業に危険な方法はないかに、気づける感性を磨かなければなりません。とはいっても、言ってなるようであれば、皆さん苦労はない訳で、教育と共に、こまめなパトロールと声掛けが一番の予防策なのだと自覚し、私も夏へ向けてできるだけ時間を見つけて配筋検査とパトロールへ行かなければと、早速本日近くの現場に行ってきます。

今月から始まる現場も多いので、まずは、準備月間をゼロ災害で過ごせるようみんなで協力していきたいと思います。ご安全に！(^_^)/~

頭の体操【1分間で答えよう】

① 『自然数からランダムに5つ、同じでない数を選びだします。その5つの数の、各々の差を取ります。すると、その差が4の倍数となる組み合わせが必ずひと組存在する。』

問：上記の命題は正しいでしょうか？正しい、もしくは正しくないことを数学的に簡潔に証明してください。

② 下線部を正しく読みましょう

(1) 恩人を足蹴にするとは許せぬ。
(2) あの料亭、一見さんお断りだって。
(3) ライバルに一矢報いてやった。
(4) 銅の屋根が緑青を吹く。
(5) 任務を遂行する。

③ どういう意味でしょうか？

(1) つぶらな瞳（　　）
(2) 失笑する（　　）

☆当社ホームページに解答を掲載してあります。ある程度の時間、悩んで頭を使った後、解答を見て“スッキリ”してください。URL:http://katokin.net

☆富士宮給食センター☆

昨年７月に当社の乗り込み。
運搬の予定が入ると、
「明日の運搬は、ピーマンゲートからの搬入です。」
「んっ､､､？」、　ゲート
「午後便はニンジンゲートからお願いします。」
「んんん？？？」　ゲート

最初こそ冗談で言われているのかと、訝しんだものの、現場に行ってみると、ゲートの入り口にピーマンや人参の絵が表示されています。なんてユニークなんでしょう。

このような現場で作業をしていれば、出来上がった建物が､子供たちの喜ぶ顔を作る元となることがイメージでき、自然と笑顔があふれ、ぎすぎすした人間関係を作らない環境ができそうです。アイディアいっぱいです。

外観は、写真のように給食センターとは思えないようなおしゃれな仕上がりとなっております。躯体を担当する当社としては、出来上がりを見てびっくりな感じです。

また、給食の試食が２８０円でできるそうで、子供のころの味を懐かしんでみてはいかがでしょうか？
詳しくは富士宮市のホームページをご覧下さい。
おいしい給食にほころぶ子供の笑顔を思いながら・・・

✍✍✍今回の心に良い話✍✍✍　毎日の自分に役立つ、あるいは迷った時、悩んだ時に、皆の力になるような言葉を与える

テーマ：『与える』

手に入れるため、男は努力した。それでも、蓄えが豊かになることはなかった。
男は賢者に訴えた。すがるような声で答えを求めた。「教えてください、どうすれば成功をつかめるのですか？」
賢者は答えた。「手に入れるには、与えなければならない。」
男はさらに問いかけた。
「私に何が与えられるというのです、私には生きていくのにぎりぎりの糧しかない、そして食べなければ生きていくことはできないならば、私の人生を分け与えましょう。」
すると賢者は言った。「もっと与えることだ。」
男は学んだ。手に入れる方法を、自分は忘れていた。男は湧き起こった慈愛を胸に、世の人々に目を向けた。
実りある生を分け与えた男には、喜びに満ちた日々が訪れた。与えることこそが、豊かさの鍵だったのだ。

–アーサー・ウィリアム・ビア

多くの場合、我々は何かを「得ること」で豊かになれると思い込んでしまっています。

家庭の中でも、社会の中でも、政治に対しても、どうしてもっとこうしてくれないのだと、求めることばかりが先行している昨今です。

しかし、このアーサーの言葉にあるように「与えること」によって豊になるというのは、人生において良くある真実なのではないでしょうか？

利害関係のないところで１００％与えるという行為はなかなかできないことだと思います。でもそうしたことを通じて、あなたの人格が形成され、あなたはより喜びに満ちた日々を送れるのではないでしょうか？

お釈迦様の言葉にも､『見返りを求めない』とあります。なんと難しい教えでしょう。

あなたはこの言葉からどんなメッセージを受け取りましたか？

☆編集後記☆　北海道で、小学2年生お子さんを山中に置き去りにしたことによる騒動は、まだ皆さんの記憶に新しい出来事と思いますが、無事見つかって本当に良かったと、全国で胸撫で下ろした方も多くいらっしゃったことと推察致します。報道は過熱し、行き過ぎた躾と両親をバッシングする声が後を絶たない中､『もしかしたら、自分も似たようなことをしてしまっているのかも...』と、共感の声を上げる親御さんもいらっしゃるとのことです。かく言う私も、子供たちが小さな頃に、これって虐待かしら？と、不安を抱えたこともあるくらい子育ては悩みが尽きないものです。非難するのは簡単ですが、相手の気持ちに寄り添い、話を聞いてあげる環境ができると、このようなこともなくなってくるのかもしれません。

それでは、次回第42号をお楽しみに♡♡♡